

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

12月号

平成27年12月21日(月)発行

《 いのら チャレンジ(挑戦) 感動 感謝 》

“ありがとう”を言える“幸せ”

“ありがとう”って言葉は、かける人もかけられる人も“幸せ”にしてくれる魔法の言葉だと思います。なぜなら、“ありがとう”と言うときは、プラスの気持ちで言っていると思うから。

私は毎朝+毎晩、“感謝の時間”というものを作っています。
心を鎮め、手を合わせ、
まず前日(もしくはその日)を振り返り反省します。
次に感謝。

家族、お友だち、スタッフさん、
共演者さん、観覧のお客さん、応援して下さってる方、
美味しかったごはん、可愛かったお洋服、辛かった出来事、
うれしかったこと……神様、ご先祖様。

できるだけ名前や事柄をあげて
「ありがとうございます」とお伝えします。

そして最後にお祈り、
1日が「ありがとう」で始まって「ありがとう」でおわるのは
すごく気持ちがいいことです。



校長 平野 浩

左の言葉は、タレントのベッキーさんの「ベッキーの♪心のとびら」(幻冬舎)に掲載されています。

私も朝目が覚めると、今日も元気に起きられたことに感謝します。そして、夜寝る時に、今日も無事に1日を過ごせたことに感謝するようにしています。1日の

最後が「ありがとう」で終わると本当に気持ちがいいものです。

それと同じように、12月31日には、今年もいろいろなことがあり、「ありがとうございます」で終わり、1月1日には、今年も無事に新しい年を迎えることができ、「ありがとうございます。今年もがんばろう。」で始まる年になれば素晴らしいと思います。

今年1年、赤木名小学校の子どもたちに大きな事故や病気がほとんどありませんでした。そして、それぞれの子どもたちが勉強や運動をがんばり、それぞれのペースで成長することができました。作品募集やスポーツ大会等ががんばり、賞をもらう子どもがたくさんいました。

また、地域の方々から、子どもたちのあいさつがいいとか、奉仕作業を頑張ってくれたとか、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

子どもたちのがんばりにありがとう。子どもたちの笑顔にありがとう。保護者や地域の皆様の学校への御理解・御協力にありがとうございます。

平成27年度も“幸せ”に終われそうです。平成28年度もたくさん
の「ありがとう」が言えるといいと思います。

ありがとう

先輩に続け！！ハッキナっ子！！

11月29日(日)に行われた笠利町内一周駅伝は、赤木名Aチームが見事連覇を果たしました。その中で、濱崎優汐さんが14区の女子フリー区間で見事区間賞を獲得しました。彼女は、赤木名小学校の卒業生で、小学校から走るのが速く小学校の持久走大会の記録ももっています。走ることが大好きだという彼女は、厳しい練習環境の中毎日がんばり続け、4月からは実業団の「九電工」に進むそうです。九電工は、先日行われた全日本実業団女子駅伝で7位入賞を果たすほどの強豪チームです。そのチームに赤木名小学校の先輩の濱崎さんが加わるのです。とてもすごいことだと思います。濱崎さんのように赤木名小学校の子どもたちが目標をもってチャレンジ・努力してくれればと思います。そして夢をかなえられればなお素晴らしいことだと思います。

持久走大会が終わった後の朝の校庭で、いっしょうけんめい走る子どもたちの姿を見て頼もしく思い、「がんばれ」と心の中で叫ぶことでした。



【冬休みの生活について】

- 1年を振り返り、めあての反省をし、1月1日には新年の目標を立てましょう。
 - 「早寝・早起き・朝ごはん」に心がけましょう。
 - 交通事故に気をつけましょう。道路の飛び出しや自転車のスピードの出しすぎ、手放し運転等に気をつけ、自転車に乗る時は必ずヘルメットをつけましょう。
 - 地域の行事には積極的に参加しましょう。
 - 家庭学習はしっかりとし、帰宅のチャイムの合図ですぐに家に帰りましょう。
- 1月8日(金)が始業式です。子どもたちが元気に登校して来ることを期待しています。